

# 一般社団法人日本解剖学会 2022(令和4) 年度第3回常務理事会議事録

日時：2022(令和4)年6月18日(土) 13:00～16:15

場所：一般財団法人口腔保健協会 302会議室(オンライン併催)

出席者：渡辺 雅彦(理事長)、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一(以上、常務理事)、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀(以上、常務幹事)、中村 聡(以上、口腔保健協会)

## I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2022(令和4)年度第2回常務理事会(2022(令和4)3月26日開催)議事録(案)
- (2) 2022(令和4)年度第1回理事会(2022(令和4)3月26日開催)議事録(案)
- (3) 2022(令和4)年度定時社員総会(2022(令和4)3月28日開催)議事録(案)

## II. 報告事項

### 1. 庶務報告

#### (1) 会員異動報告

資料に基づき以下の通り報告があった。

令和4年3月分

入会者 正会員 5名、学生 2名

退会者 正会員 10名、名誉会員 1名

令和4年4月分

入会者 正会員 2名、学生 1名

退会者 正会員 6名、永年会員 2名

令和4年5月分

入会者 正会員 1名、学生 1名

退会者 正会員 1名、名誉会員 1名

○逝去会員

小林寛 氏(日本歯科大学・名誉教授/永年会員) 令和4年4月1日逝去(満86歳)

磯野日出夫 氏(岐阜大学・名誉教授/永年会員) 令和4年5月24日逝去(満92歳)

○解剖学教育専任教授新規就任者(2022(令和4)年4月1日～6月13日に事務局へ連絡があった方)

本田義知 先生(大阪歯大・口腔解剖学・教授 令和3年8月1日就任)

藤田幸 先生(島根大・医・解剖学(発生生物学)・教授 令和4年4月1日就任)

崎山浩司 先生(明海大・歯・解剖学・教授 令和4年4月1日就任)

木村亮介 先生(琉球大・医・人体解剖学・教授 令和4年4月1日就任)

川口綾乃 先生(岡山大・医・人体構成学・教授 令和4年6月1日就任)

#### (2) 学会宛文書類について

資料に基づき、2022.3.16-6.18に学会に届けられた文書類について、以下の通り報告があった。

・通知・依頼(公財)黒住医学研究振興財団より「第58回小島三郎記念文化賞、第30回研究助成のご案内について」他109件。

・書籍、定期通信 他：製薬協より「製薬協ニューズレター No.208」他15件。

#### (3) 2022(令和4)年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき、各支部学術集会の開催が9月から11月に予定されていることが報告された。東北・北海道連合支部学術集会の開催日の修正があった(9月3日(土)・4日(日)→9月10日(土)・11日(日))。また、開催形式が決定し次第、連絡を頂く旨の提案があった。

#### (4) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会(解剖学雑誌編集委員会、認定解剖組織技術者資格審査委員会、解剖体委員会、解剖学用語委員会、海外交流委員会、教育委員会、若手育成委員会、アウトリーチ委員会、学術委員会、医療専門職教育委員会、倫理・利益相反委員会、賞・研究費候補者選考委員会、ASI編集委員会、ダイバーシティ推進委員会)の議事等が報告された。

#### (5) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会 第20期第2回運営委員会(2022年3月29日、オンライン開催、

委任状提出) の議事録が報告された。

(6) その他

全国学術集会の開催形式に関して、会頭の意向を優先しつつ、会頭を支援するためにも理事会としての方向性を示した方が良いのではないかとの意見が出された。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、ASI Vol.97 No.3の刊行と、ASI Vol.97 No.4ならびに解剖学雑誌97巻2号の刊行予定が報告された。

(2) 「解剖学ひろば」への掲載希望の申し出について

資料に基づき、永年会員執筆のエッセイの掲載希望の申し出があったことについて説明があり、査読、コメントへの対応の上で掲載の方向で進められていることが報告された。

(3) その他

以下の点が改めて報告された。

解剖学雑誌発行の経費削減の方策として、前付にある全国学術集会の案内を1ページとし、詳細な情報は全国学術集会ウェブサイトにて委ねること。

「お知らせ」(各支部の学術集会日程案内)と定時社員総会議事録は、学会ウェブサイトに移行させること。

2021年度に実施されたアンケートの報告は、詳細なデータについては解剖学会ウェブサイト内を参照する形とし、図表は主要なもののみを冊子体に掲載することとして、各アンケート報告を4ページ以内におさめてもらうこと。

3. 企画・渉外報告

(1) 2022(令和4)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、募集を行うことが報告された。また、奨励賞については募集要項の修正、PDF化して電子申請を可能とすること、などの変更点についても報告された。

(2) 2022(令和4)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、例年に倣って6月30日必着で募集を行っていることが報告された。

(3) 2022(令和4)年度第127回総会・全国学術集会の終了報告について

資料に基づき、第127回総会・全国学術集会は、佐藤真先生(大阪大学)を会頭としてWeb方式で開催され、参加者は878名、演題は583題であったことが報告された。

(4) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集会の準備状況について

第128回総会・全国学術集会は、大和田祐二先生(東北大学)を会頭として、2023年3月18日(土)～20日(月)に開催予定であり、開催方式等につき検討中であることが報告された。

(5) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第129回総会・全国学術集会は、高山千利先生(琉球大学)を会頭として、2024年3月21日(木)～23日(土)の予定で開催されることが報告された。

(6) 2026(令和8)年度第131回総会・全国学術集会開催校募集について

資料に基づき、募集を開始することが報告された。

(7) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、以下のことが報告された。

・創立120周年事業「未来への提言」に対する意見募集があり、常務理事会で協議し修正案を提出した。

・「日本医学会利益相反管理規定(案)」の内容を倫理・利益相反委員会で確認し、意見を提出した

・第31回日本医学会総会奨励賞候補者の推薦依頼があった。

・日本医学会連合2022年度定時社員総会(2022年6月29日)に福田常務理事が出席予定であること。

- (8) 生物科学学会連合報告  
資料に基づき、第25回定例会議が今後開催予定であり、予定議事が報告された。関連して英文学会誌に関するアンケートの回答提出について説明があった。
- (9) 日本脳科学関連学会連合報告  
資料に基づき、第25回評議員会（2022年5月12日までのメール審議）の結果が報告された。
- (10) その他  
特になし。

#### 4. 会計報告

- (1) 2022(令和4)年度中間決算書について  
資料に基づき、2022(令和4)年度5月次中間決算書(2022年1月1日～5月31日)の内容が報告された。
- (2) 若手の悩みについてのアンケート集計結果  
資料に基づき、若手研究者の会で行ったアンケートの集計結果が報告された。
- (3) その他  
特になし。

#### 5. 理事長報告

- (1) 日本外科学会CST推進委員会報告  
本年度はまだ開催されていないが、日本外科学会のCST推進委員会・厚生労働班会議合同企画ワークショップ（2022年4月16日開催）において、木山常務理事が献体団体の登録者数の推移と成願者の推移について報告し、CST推進にあたり問題点等を日本外科学会と共有した。
- (2) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）  
資料に基づき、以下のことが報告された。
- ・ 2022年はKAAより若手研究者を招聘し、第127回日本解剖学会総会・全国学術集会において合同シンポジウムを開催した。また、2023年はKAAへJAAから会員を派遣する年にあたる。
  - ・ 第10回APICAは2022年にオーストラリアとニュージーランドによる合同開催の予定である。詳細は確認中である。
  - ・ 第20回IFAAは2022年8月にイスタンブールで開催予定であるが、完全Web方式に変更となった。
- (3) 解剖体からのプリオン検出について  
人体解剖実習の解剖体からプリオンを検出したとする論文が米国の医学雑誌に掲載されたことが報告された。これを受け、全会員にメーリングリストを通じ、「危険性のある感染症を伴うご遺体の取扱いに関する日本解剖学会の指針（2020年3月）」を参考の上、標準予防策（スタンダードプリコーション）を講じて感染防止に努めるよう注意喚起を行ったことも報告された。
- (4) その他  
特になし。

#### III. 審議事項

1. 新入会員の承認について  
資料に基づき、令和4年3月1日から5月31日までに入会申請のあった一般会員6名、学生会員7名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。
2. 教授就任による代議員について  
資料に基づき、教授就任に伴う以下の5名の代議員申請者について審議の結果、代議員の就任が承認された。
- 本田義知 先生（大阪歯大・口腔解剖学・教授 令和3年8月1日就任）  
藤田幸 先生（島根大・医・解剖学（発生生物学）・教授 令和4年4月1日就任）  
崎山浩司 先生（明海大・歯・解剖学・教授 令和4年4月1日就任）  
木村亮介 先生（琉球大・医・人体解剖学・教授 令和4年4月1日就任）  
川口綾乃 先生（岡山大学・医・人体構成学・教授 令和4年6月1日就任）

3. 日本医学会利益相反ガイドライン改定に伴う日本解剖学会対応について  
資料に基づき、日本医学会「利益相反管理規定案」についての日本解剖学会からの回答として、日本解剖学会の規定(申告者の研究機関・部門の長が現在または過去3年以内に共同研究者、分担研究者だった場合は申告を要するという点については、他の学会の対応状況を見つつ、必要があれば申告者の申告書に「申告者が所属する研究機関・部門の長も所属機関の規程に従って適切にCOI管理されている」等申告者から宣言してもらうことで対応する)との整合性の確認が行われ、申告者の研究機関・部門の長が現在または過去3年以内に共同研究者、分担研究者だった場合は申告を要するという点については、他の学会の対応状況を見つつ、必要があれば申告者の申告書に「申告者が所属する研究機関・部門の長も所属機関の規程に従って適切にCOI管理されている」等申告者から報告してもらうことで対応することとし、この件については新たに解剖学会の規定を変えないこととした。本件を含めて現時点では「特に齟齬なし」と回答することが承認された。また、学術集会発表用の利益相反状態申告書の項目について検討が行われ、改訂案について金額やエクワイター等は削除する方向で12月の理事会で諮ることが確認された。
4. IFAA「terminologia anatomicaの改訂版(TA2)」対応について  
資料に基づき、まずは解剖学用語委員会で議論を行うという方針が確認された。
5. 解剖学雑誌とAS Iの合本製作について  
資料に基づき、2012年までの合本は作成済みであり、それ以降の合本を作成することが承認された。
6. 学会メーリングリストサーバー移管について  
資料に基づき、セキュリティ強化の影響で学会のメーリングリストのメールが受信できない事例が発生していることが報告され、現在使用しているサーバーとは別の契約済サーバーでテスト送信を行った上で、問題がなければ移行することが承認された。
7. 第128回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について  
資料に基づき、7件の申請全て採択することが承認された。
8. 終身会費の特定資産化について  
資料に基づき、終身会費を若手育成に使う目的で特別事業積立金に算入する方向で進めることが承認され、次回の理事会に諮ることとなった。また、若手育成目的でどのように有効に使っていくのが良いかについて、若手育成委員会にも意見を求めて継続審議することが確認された。
9. 会員名簿の今後のあり方について  
資料に基づき、会員名簿の今後のあり方について、意見交換がなされた。その結果、次回の名簿までは紙媒体で発行することを確認し、その際に追加項目等について検討することとした。その後の名簿発刊のあり方については、Webなどの検索システムの構築なども含めて再度検討を行うこととなった。
10. 解剖学実習用献体の不適切対応について  
資料に基づき、解剖学実習用献体の不適切対応事例の調査結果等の報告がなされ、技術職員の技術継承を行うための連携方法、解剖学実習に関わる職員数の減少への対応と連携体制の強化などについて、種々の意見交換がなされた。
11. その他  
特になし。

次回常務理事会 9月17日(土) 13:00-16:00@口腔保健協会302会議室